

油コブシ

(626m)

実施日：11月06日(水)

天候：晴れ

参加者：11名 川鍋、河本、園田、田中、塚本、檜崎、細田、前田(信)、牧野、松本、園田

行程：ケーブル下 10:36→11:09 鶴甲・渦森台分岐 11:17→11:46 芝生広場 13:00→13:07
油コブシ 13:10→13:15 寒天山道合流→14:02 谷川 14:11→15:21 阪急「六甲」駅

10時に阪急「六甲」駅改札口集合で、9時58分着の電車で来るメンバーを待っていると、肩をたたく人が。誰かと思い振り返ると、田中滋彬さんが。えっ、何でこんなところで。こんな偶然もあるのか。メンバーも全員揃い、田中さんと挨拶を交わす。83歳との事だが、顔色も良くお元気そうである。少し立ち話をして別れ、ケーブル下行のバスに乗るべく並ぶ。列は長く3台やり過ごし乗車。途中の神戸大学で沢山の若者が下車し、終点に到着。我々以外はケーブルへ。ここで身支度をし、スタート。

ケーブル駅から東に延びる車道を上り、ハイキングコースの看板から分岐した車道を上る。マンションがこんな高い斜面に建ち並んでいる。一番上に立つマンションの横から山道にはいる。しばらく上り、油コブシへの案内標識に出会う。標識に従い上ってゆく。所々、木立の切れ目から景色がみえるが、ほぼ自然林のなかを上る。小休止を取り、急登を上りきると、展望の良い芝生広場に到着。ここで景色を眺めながらお弁当。食後は望遠鏡などで景色を見る。正面遠くに、関空が見える。裸眼でも関空に渡る橋は確認できる。ちょうど良い気候のなか、のんびり過ごす。

ゆっくりした昼休みのあと、油コブシの頂上にひと上り。あまり山頂らしくなく、斜面にある出っ張りのような山頂である。ここが目標地点なので、写真を撮り、少し上っていくと、やがて寒天山道と出会う。ここからは寒天山道を下る。この下り道は、危険ではないが、雨で浸食され、荒れていて歩きにくい。小一時間下り続け、傾斜が緩くなったところの、谷川を渡ったところで、フルーツタイムの小休止。下山再開し、やがて新神戸変電所の横を下ると、マンションが。急な坂にそって建ち並んでいる。この急な坂を下から帰宅する小学生が沢山上ってくる。足腰が鍛えられるであろう。女性の目には、長岡、大山崎では見かけない垢抜けした子供たちの服装が印象的であったようだ。街中を下り続け、阪急「六甲」駅にゴール。



1, 六甲ケーブル下駅をスタート前



2, 登山口案内板へ向かう



3, 最も高所にあるマンション横からの眺め



4, 山道へ



5, 鶴甲・渦森台分岐で最初の小休止



6, 傾斜が急になってくる



7, 急登をこなす



8, 芝生広場に到着



9, 芝生広場でお弁当



10, 芝生広場でお弁当 2



11, 眺望を楽しむ、遠く関空も見える



12, 眺めは飽きない



13, 芝生広場で全員



14, 芝生広場直ぐ上の、油コブシで全員



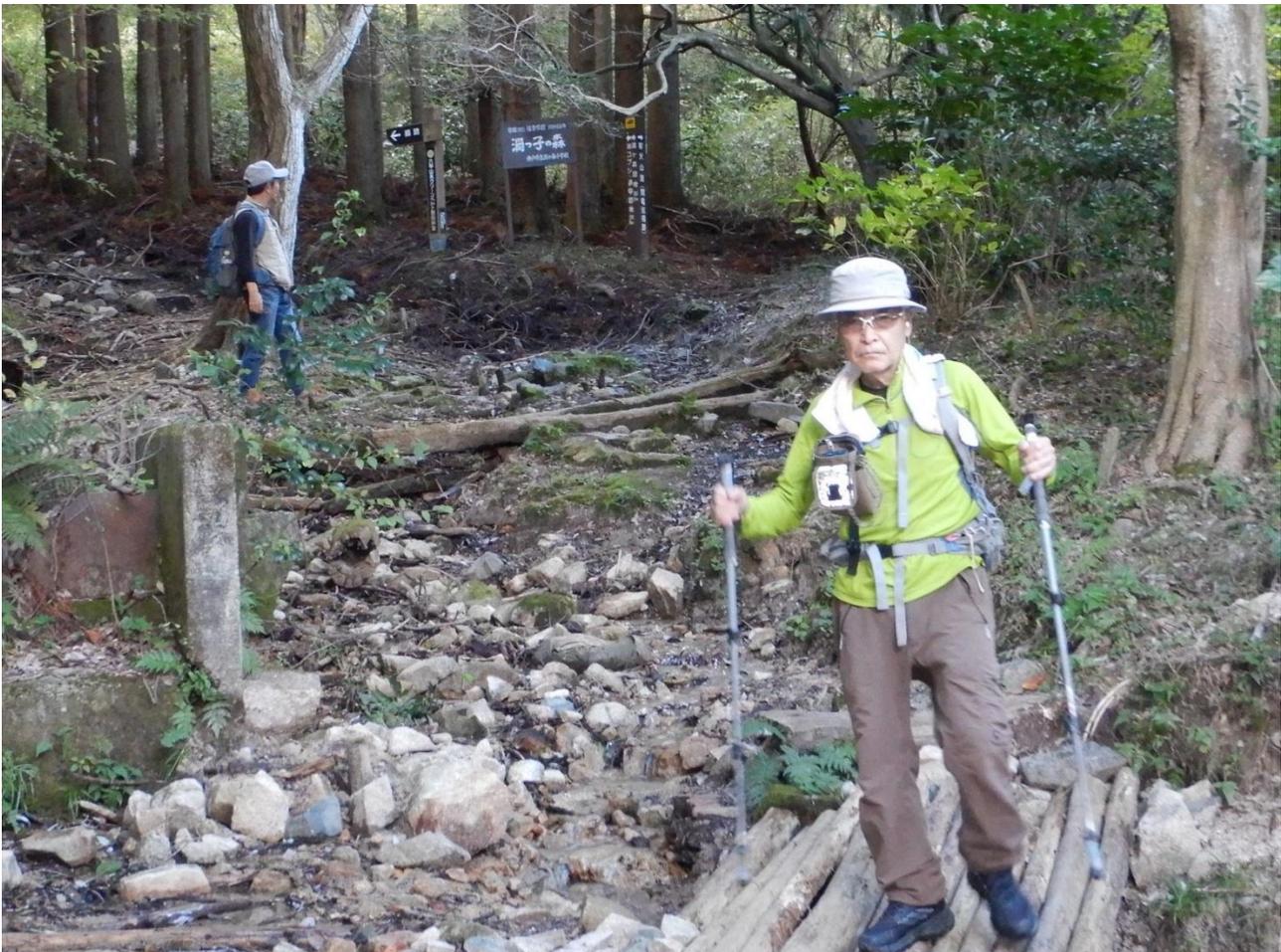
15, 油コブシから少し上り、寒天山道に合流し、寒天山道を下る



16, 雨に削られ少し道は荒れている



17, 更に下る



18, 傾斜が緩やかになり、谷川を渡り小休止



19, 青山散策路を下り、関電変電所の横をさらに下り、住宅街へ



20, 街中を阪急「六甲」駅に向かう